

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

イオンモール広島府中

(2) 事業所の所在地

広島県安芸郡府中町大須2丁目1-1

(3) 業種

貸事務所業務

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、令和4(2022)年度から令和12(2030)年度までの9年間とする。

3 計画の基本的な方向

イオンモールは、資源エネルギーを有効に活用し、サービスの質を高めながらも、環境への影響を最小にするモールづくりを通じて、持続可能な社会の実現をめざします。
そのため、環境方針を以下のとおり定め、あわせて、多くのお客さまとのコミュニケーションと地域貢献の履行に努めてまいります。

- 1.イオンモールは、気候変動の緩和及び気候変動への適応に貢献します。
- 2.イオンモールは、地球資源を保全し、循環型社会の構築をめざすため、ゼロエミッションモールを実現します。
- 3.イオンモールは、生物多様性及び生態系の保護を推進します。
- 4.イオンモールは、お客さまをはじめとするパートナーさまの生活環境の向上と、地域社会の発展と環境保全に貢献します。
- 5.イオンモールは、環境法規制や当社が受け入れを決めた要求事項を順守します。
- 6.イオンモールは、環境マネジメントシステムを構築し、事業部門ごとに目標を制定し汚染を予防する体制を築き、環境パフォーマンスを向上するための継続的な改善を推進します。
- 7.イオンモールは、従業員全員で環境意識を高め、お客さま・パートナーさまと取組みの輪を広げていきます。
- 8.この方針を当社従業員及びともに働く従業員に周知するとともに、当社の環境情報を公開いたします。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成25 (2013) 年度	令和3 (2021) 年度
二酸化炭素	7,387	6,293

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 () 年度	令和 () 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 () 年度	令和 () 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度	削減目標		目標年度
	(平成25 (2013) 年度)	削減率	削減量	(令和12 (2030) 年度)
	排出量 (a)	(b)	(c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2	7,387	9.0	665	6,722
非エネルギー起源CO2				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方	計画年度前年の令和3(2021)年度エネルギー起源CO2排出量は、基準年度比14.8%減であったが、この数値は感染症拡大による一部休業によるものと推測する。 (令和元(2019)年度CO2排出量は、7910であり、基準年度比7.08%増) 目標年度の令和12(2030)年度については基準年度比9%減を目指す。			

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

削減率 (%)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類 温室効果ガスの種類	基準年度		削減目標 削減率	目標年度		
	(2013) 年度	(平成25 (2013) 年度)		12 (2030) 年度	(令和12 (2030) 年度)	
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	(d)	排出量 見込 (e)	原単位 見込 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2			0.0			
非エネルギー起源CO2			0.0			
メタン			0.0			
一酸化二窒素			0.0			
その他 温室効果ガス			0.0			
総排出量			0.0			
(原油換算 k l) エネルギー消費原単位	-	-	0.02028	9.0	-	-
目標設定の考え方	目標設定の考え方					

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	電気使用量の削減	基準年度(平成25(2013)年度)の使用量に対して、9.0%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・テナント照明開店1分前点灯 ・立体駐車場の一部封鎖 ・PAC更新による電気使用効率化 ・空調集中管理による運転時間の削減 ・立体駐車場EVホールのPAC一部停止 ・間接照明の一部消灯
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

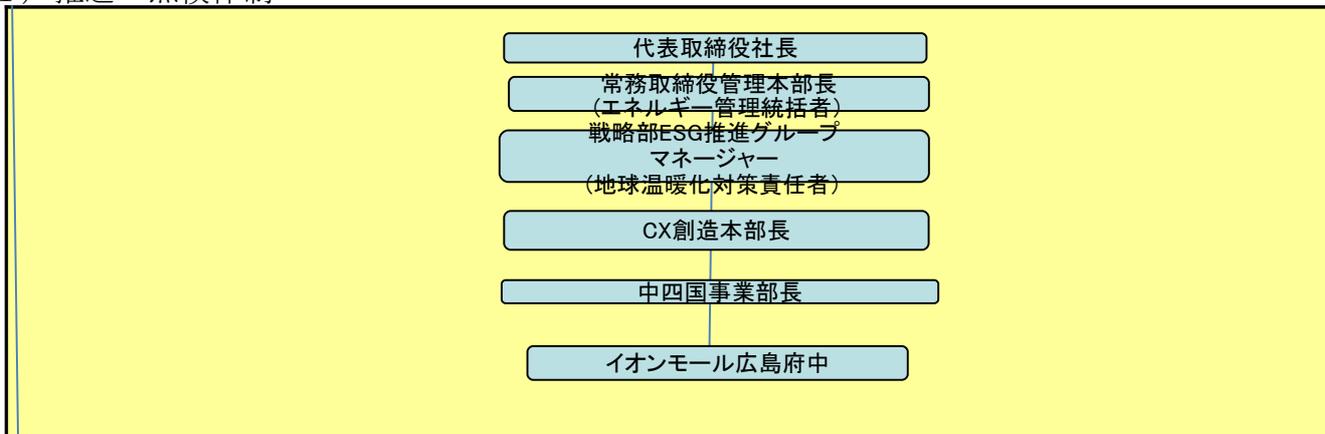
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

ESG推進Gを中心に温室効果ガス削減計画の取り組み状況の把握・点検及び問題点の検討を行う。

(3) 計画書等の公表

計画内容及び進捗状況については、毎年度発行するESGレポートに掲載する。